

2008年9月17日

## 国内初、基幹業務システム「SAP ERP」が VMware Infrastructure 3 上で本番稼働

SAP と仮想化の技術力を活かし、「SAP ERP」のアップグレードを短期間で実現

株式会社日立情報システムズ（執行役社長：原 巖、本社：東京都品川区大崎、以下、日立情報）は、自社で利用中の基幹業務システム「SAP® R/3® 4.6C」の「SAP® ERP 6.0」へのアップグレードに仮想化ソフトウェア「VMware Infrastructure 3」によるサーバ仮想化技術を採用し、8月19日より本番稼働を開始しました。約5,000人の社員が利用する大規模な基幹業務システム「SAP ERP」が「VMware Infrastructure 3」上で本番稼働したのは、国内で初めてです。

日立情報は当事例で得た経験・ノウハウを活かして、VMware 製品を活用した SAP 仮想化ビジネス「SAP Virtualization Consulting & Integration Service」を「SAP ERP」のアップグレードを計画する企業・団体に本格展開し、仮想化ビジネスを加速します。

日立情報は SAP ジャパン認定の SAP サービスパートナー及びホスティングパートナーとして、SAP ソリューションの豊富な構築・運用実績を有しています。SAP 認定コンサルタントの取得数は IT サービス企業中トップ（注1）で、2001年には SAP ジャパンより国内初の CCC（Customer Competence Center）認定を取得しています。一方、VMware 認定コンサルティングパートナー（注2）として、VMware 製品を活用した仮想化ソリューションの豊富な経験・実績と、国内の VMware VIP パートナー企業トップとなる50名の VMware 認定技術者（VCP）を有しています（2008年8月時点）。

昨年12月、グイェムウェア株式会社は、SAP AG が自社ソリューションを VMware ESX を使用した64ビットの Windows および Linux ベースの本番環境でフルサポート開始したと発表しました。これを機に日立情報では、自社で利用中の基幹業務システム「SAP R/3 4.6C」の「SAP ERP 6.0」へのアップグレードにあわせて、SAP アプリケーションサーバと周辺システムサーバを VMware 製品で統合する「基幹システムリニューアルプロジェクト」を立ち上げ、サイジング等の設計や動作検証・評価などを進めてきました。そして8月19日より、「VMware ESX」と株式会社日立製作所の統合サービスプラットフォーム「BladeSymphony」によるサーバ仮想化環境で「SAP ERP」の本番稼働を開始しました。

今回の VMware Infrastructure 3 上での「SAP ERP」本番稼働のポイントは次の通りです。

### (1) 大規模な基幹業務システム「SAP ERP」を、VMware 製品の仮想化環境で本番稼働開始

日立情報約5,000人の社員が利用し、ピーク時には約700人が同時にログインする大規模な基幹業務システム「SAP ERP」を、VMware 製品の仮想化環境で本番稼働を開始しました。

### (2) 「SAP ERP」へのアップグレードを4ヶ月で実施

日立情報が持つ SAP システムと VMware の仮想化技術を駆使し、4ヶ月という短期間で「SAP ERP」の各モジュール（財務会計、管理会計、販売管理、在庫管理）のアップグレード及び仮想化を実現しました。

### (3) リソース需要の変化にタイムリーに対応できるシステム環境を整備

仮想化技術の採用により、業務処理のピークに応じ、リソースの動的な割当など環境の変化に柔軟に対応できる環境を整備しました。

#### (4) サーバ統合による運用コスト削減

今回のプロジェクトでは、本番稼働後もサーバ環境の仮想統合を継続して進め、2008 年末までに SAP ERP サーバを含む全 26 台のサーバを 12 台に削減予定です。これにより、運用コスト削減も見込んでいます。

日立情報では、今回の基幹業務システムアップグレードで得た経験・ノウハウを活かして、「SAP ERP」のアップグレードを計画する企業・団体に、VMware 製品を活用したサーバ仮想化環境構築、仮想化コンサルティングなどの SAP 仮想化ビジネス「SAP Virtualization Consulting & Integration Service」を、本格展開します。あわせて、IT インフラ統合やシンクライアント導入に伴うクライアント PC の仮想統合など、仮想化の多様なニーズにも積極的に対応し、2010 年度に仮想化関連で 110 億円の売上を目指します。

なお、今回の本番稼働に関し、SAP ジャパン及びヴイエムウェア株式会社より以下のコメントを頂いております。

SAP ジャパンは、日立情報システムズが「SAP ERP 6.0」の本番稼働を VMware の仮想化環境で開始したことを歓迎いたします。SAP では 4 月に「エンタープライズ・バーチャライゼーション・コミュニティ」を設立、7 月には、パートナー企業およびお客様企業とともに最新技術を取り込んだソリューションの検証・開発を行う「SAP Co-Innovation Lab Tokyo」を開設し、仮想化などの研究開発・検証に取り組んでいます。

今回の日立情報システムズでの本番稼働は国内初の事例として、その先陣を切るものであり、これを機に日本企業でも VMware 上での SAP アプリケーションの利用が広がることを期待しています。

SAP ジャパン株式会社 バイスプレジデント ビジネスプロセスプラットフォーム本部長 福田譲

日立情報システムズのこの度の発表を心より歓迎いたします。ヴイエムウェアの仮想化ソリューションと日立情報システムズの高度な技術力により、わずか 4 ヶ月で「SAP ERP」の本番環境での稼働を実現されたことは、企業基幹システムの仮想化を検討されている企業にとっても非常に価値あるものと確信いたします。

日立情報システムズとヴイエムウェアは、VMware VIP エンタープライズパートナーおよび VMware 認定コンサルティングパートナー (VAC) として、強固なパートナーシップを構築して参りました。今後ともヴイエムウェアは、日立情報システムズの高度な仮想化技術に裏付けられたコンサルティングサービスをはじめとした仮想化ビジネスを、営業・技術の両面から積極的にご支援して参ります。

ヴイエムウェア株式会社 代表取締役社長 三木泰雄

(注 1) SAP 認定コンサルタント数

SAP 認定コンサルタント数は 319 で、Certification 2003 (SAP R/3 Enterprise) 以降の認定資格数 (2008/6/30 現在)

(注 2) VMware 認定コンサルティングパートナー (VMware Authorized Consulting Partner, VAC)

VMware 社が認定するパートナー制度。パートナー企業は VMware 認定技術者を 2 名以上擁し、VMware の認定コンサルティングメニューを再販することができる。

\*記載されている会社名、製品名ならびにサービス名は、各社の登録商標または商標です。

<お客さまからのお問合せ先>

商品問い合わせ窓口

お問い合わせ Web フォーム: <http://www.hitachijoho.com/contact/>

<報道機関の問い合わせ先>

CSR 本部 コーポレート・コミュニケーション部 松林、根本

TEL 03-5435-5002 (ダイヤルイン) email: [press@hitachijoho.com](mailto:press@hitachijoho.com)

以上